

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	害虫防除事業				事業通番	4731	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	担当課名	町民税務課	
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	保健衛生費		目	保健衛生総務費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	—
事務事業の概要	住宅環境で発生する病害虫（アメリカシロヒトリ等）の被害蔓延を防止するため、各自治区で実施する防除活動に対して、防除機器の貸し出し支援を行い、良好な生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。
対象（誰、何を）	自治区住民
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	住宅環境で発生する病害虫（アメリカシロヒトリ、ハエ、ゴキブリ）を抑制する。
成果の考え方	病害虫の大規模発生の抑制
【成果指標】	
A 自治区等による防除を行った回数	単位 回
B 防除を行った自治区数	地区

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	2,481	1,270	999	2,375	1,526
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	2,481	1,270	999	2,375	1,526

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	170	170	170	170
	169	170	161	145	135
B	-	95	95	95	95
	95	95	93	87	77

(3) 活動実績及び成果

活動実績	防除機材貸出77地区の病害虫防除作業を実施した。 自治区が予定どおり防除を実施できるように、6月から9月までの期間、毎週末金曜日に防除機材の点検を行った。 防除機材の操作マニュアルを備え付け、操作方法及び操作注意点を周知した。
成果	病害虫の大規模被害発生の報告等が無かったことから、被害蔓延の防止ができた。 防除実施当日に故障等の緊急連絡は無く、自治区は予定どおり防除作業を実施した。又、過去に緊急連絡を受けた自治区が実施する当日は、職員が立ち会いをして操作習得を図った。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
防除機格納庫の1箇所集約に向け、防除機貸出状況、活動時間及び稼働状況等の分析を進める。また、格納庫の集約が可能とした場合、防除機の必要台数割出しの調査も検討する。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 病害虫による被害蔓延防止のため、自治区への防除機貸出を継続実施する。なお、維持管理等の軽減策についても並行して検討する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	廃棄物減量等推進事業				事業通番	5037	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	担当課名	町民税務課	
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	清掃総務費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 会津美里町廃棄物減量等推進審議会条例					
事務事業の概要	廃棄物減量等推進に関する重要事項について調査審議するための審議会を開催するとともに、適正排出・分別回収等の指導、啓発を行い、廃棄物の減量等を推進する。					
対象（誰、何を）	町民が排出するごみ					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	減量する					
成果の考え方	町からのごみ排出量の減少 町民一人当たりのごみ排出量（1日あたり）の減少					
【成果指標】					単位	
A	年間の町からのごみ排出量					t
B	町民一人当たりのごみ排出量（1日あたり）					g

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	819	1,128	981	921	711
国庫支出金					
県支出金					20
地方債					
その他					
一般財源	819	1,128	981	921	691

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	7,222	7,062	6,904	6,751
	7,374.9	7,585.2	7,476.5	7,258.1	6,850.9
B	-	993	990	987	984
	977.5	995.9	994.3	983.5	944.2

(3) 活動実績及び成果

活動実績	廃棄物減量等推進審議会；3回 ごみ減量化標語コンクール；応募207点 使用済み小型家電リサイクルイベント；年2回開催(6月；5,285kg 10月；2,579kg) 各戸配布用のごみカレンダー作成 選別収集の実施
成果	選別収集は、4月から9月までの周知期間を踏まえ10月から本格実施した。年間を通して、ごみステーションを拠点とする情報発信と、広報紙及びHPからの選別収集状況数値を発信したことで廃棄物への関心を高めた。結果、選別収集実施期間(10月から3月)の家庭ごみ収集量は13.3%の減量、リサイクル率は4.0ポイント上昇となった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
生活系一般廃棄物減量対策である選別収集の取組が成果として表れてきていることから、選別収集の更なる習慣化に向けた広報活動を継続する。また、事業系一般廃棄物減量対策に向けた選別収集方策を検討する。	
成果の方向性	(理由) 生活系一般廃棄物減量対策の成果が一過性とならないよう周知活動の継続と、生活系のみではなく全体的取組として事業系一般廃棄物減量にも取り組む。
現状維持	

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	不法投棄対策事業				事業通番	5218	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	担当課名	町民税務課	
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	清掃総務費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 会津美里町不法投棄の防止に関する要綱					
事務事業の概要	道路や河川、山林等に不法投棄された廃棄物について、投棄者が特定できずに地域住民や不法投棄監視員により自主的に回収されたものを適正に処分する。不法投棄の防止対策と投棄されない環境整備を行う。					
対象（誰、何を）	・町民 ・不法投棄物					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	・不法投棄に対する意識の高まりと未然防止への環境整備 ・不法投棄物の回収、適正処分					
成果の考え方	・不法投棄常習地への防止看板等の設置と不法投棄の抑制を行う。 ・適正処分された不法投棄物					
【成果指標】					単位	
A	不法投棄防止の啓発（広報、看板設置）					回
B	適正処分された不法投棄物					件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	1,303	1,409	1,268	1,054	1,076
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	1,303	1,409	1,268	1,054	1,076

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	10	10	10	10
	5	9	15	10	12
B	-	20	20	20	20
	25	23	20	9	8

(3) 活動実績及び成果

活動実績	不法投棄監視員との情報を共有するため、2回の連絡会議を実施した。 不法投棄監視員からの通報により6回、不法投棄回収を行った。 不法投棄を抑制するための環境整備として、監視カメラ新規2基を設置(延べ8基稼働)した。
成果	不法投棄を抑制するために監視カメラを新たに2基設置し、投棄されない環境整備ができた。 不法投棄された廃棄物を適時処分することで、不法投棄拡大の防止ができた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
不法投棄地点を把握できていることから、監視カメラの順次設置を進める。また、不法投棄監視員の定期巡回等を並行して実施し不法投棄抑制に努める。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 不法投棄抑制のため、不法投棄全地点への監視カメラ設置に向け環境整備を進めるとともに、廃棄物の定期的処分を実施する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	狂犬病及び犬猫等処理事業				事業通番	5219	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	担当課名	町民税務課	
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	清掃総務費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	狂犬病予防法 会津美里町狂犬病予防法施行細則					
事務事業の概要	畜犬の登録及び福島県獣医師会と共同の狂犬病予防集合注射を実施する。					
対象（誰、何を）	町民が飼養する犬					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	畜犬の登録及び狂犬病予防注射を接種					
成果の考え方	犬を飼養する町民へ狂犬病予防及び飼養マナー向上への啓発を行い、予防注射接種率が向上する。					
【成果指標】						単位
A 狂犬病予防注射接種率（注射済票交付頭数／総登録頭数）						%
B 広報による狂犬病予防注射、飼養マナー啓発記事掲載						回

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	600	624	1,144	697	721
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他				417	404
一般財源	600	624	1,144	280	317

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	100	100	100	100
	83.9	86.6	82	81.9	77.9
B	-	3	3	3	3
	4	3	3	4	5

(3) 活動実績及び成果

活動実績	狂犬病予防集合注射を8会場で実施 町広報紙による畜犬の登録、予防注射接種の制度周知、飼養マナー啓発(4月1日号;飼養マナー、5月1日号;畜犬登録・集合注射、7月15日号;飼養マナー、8月15日号;予防注射接種、12月1日号;予防注射接種) 狂犬病予防注射未接種犬の飼い主への通知(通知日:7月31日) 犬猫等死体処理 犬;3匹 猫;44匹 他;39匹
成果	接種率70%以上であれば感染の被害拡大が防げるとしている中で接種率77.9%であった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】	これまでの狂犬病予防法の制度周知に加え、新たな啓発活動について調査検討を行う。		
成果の方向性	現状維持	(理由)	狂犬病の発生予防、その蔓延防止及び撲滅するためにも継続した制度の周知活動を行う。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	生ごみ処理機等購入補助金				事業通番	5222		
					開始年度	平成17年度		
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--		
	施策	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	担当課名	町民税務課		
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費		担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	清掃総務費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町生ごみ処理機等購入費補助金交付要綱	
事務事業の概要	家庭から出るごみの減量化及び再生利用を推進し、生活環境の向上を図るため、生ごみ処理機等購入者に対し1台あたり電動機の場合30千円、電動機以外の場合5千円を上限として購入費の1/2を補助する。	
対象（誰、何を）	生ごみ処理機を購入しようとする町民	
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	家庭から排出される廃棄物の内、生ごみを減容する。	
成果の考え方	生ごみ処理機活用を促進し、家庭から排出する廃棄物の内、生ごみが減容する。	
【成果指標】		単位
A 補助金による購入世帯（累計）		件
B		

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	24	43	42	88	62
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	24	43	42	88	62

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	7	7	8	8
	9	6	6	11	13
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	0

(3) 活動実績及び成果

活動実績	補助金交付件数：13件（容器12件、電動1件） 広報；5月1日号と8月15日号、12月15日号に補助金制度について掲載した。 HP；常時、申請可能な世帯数を更新しながら周知を行った。
成果	家庭から排出する廃棄物に占める生ごみを減容するための生ごみ処理機の導入支援事業として、購入世帯が目標値を上回る成果となった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	家庭廃棄物の生ごみ減容を図るため、処理効率が高い電動生ごみ処理機の活用を促進し、ごみの減量化及び再生利用に繋げる。	
成果の方向性	現状維持	(理由) 生ごみ処理機の活用を促進することにより、家庭排出の燃やせるごみの減量化を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	環境対策事業				事業通番	5224	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	担当課名	町民税務課	
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	清掃総務費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	騒音規制法 悪臭防止法					
事務事業の概要	生活環境に悪影響を与える騒音及び悪臭調査を行う。					
対象（誰、何を）	町民					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	環境に配慮した自主的な行動が実践される。					
成果の考え方	町民アンケートでの「環境に気がついた生活をしている町民の割合」が増加する。 ※成果指標 A「補助金交付件数」については、会津美里町住宅用新エネルギーシステム設置費補助金交付要綱が令和2年3月31日に廃止されたことに伴い削除。					
【成果指標】						単位
A	-					-
B	環境に気を使った生活をしている町民の割合					%

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	1,516	1,333	821	1,278	20
国庫支出金					
県支出金				40	20
地方債					
その他					
一般財源	1,516	1,333	821	1,238	0

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	-	-
B	-	81	81	81	81
	81.6	79.4	79.8	80.4	77.4

(3) 活動実績及び成果

活動実績	自動車交通騒音実態調査を2ヶ所で実施した。 11月25日～26日 高田工業団地 騒音レベル（昼間62.7dB、夜間55.1dB） 11月25日～26日 二本柳駐車場 騒音レベル（昼間64.3dB、夜間56.6dB）
成果	<令和元年度>高田工業団地 騒音レベル（昼間63.5db、夜間54.0db） 二本柳駐車場 騒音レベル（昼間62.2db、夜間53.4db） 二本柳駐車場の騒音レベルが昨年度より大きくなった原因として、工事現場事務所の設置等によるものと推測する。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
公衆衛生の向上と、良好な生活環境の保全を図るため必要な調査を実施する。	
成果の方向性	現状維持 （理由） 生活環境の保全を図るため、環境調査の実施を継続する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	廃棄物収集運搬事業				事業通番	5430	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	担当課名	町民税務課	
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	塵芥処理費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、会津美里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例、会津美里町一般廃棄物収集及び運搬業務の委託要領
事務事業の概要	一般廃棄物生活系ごみの収集運搬品目及び収集日により、家庭から排出される廃棄物を適正に処分する。
対象（誰、何を）	家庭から排出する一般廃棄物
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	生活環境の保全に支障が生じないうちに、収集運搬し処分する。
成果の考え方	収集運搬業者が環境センターで処分する家庭系ごみ(焼却・破砕・資源) 総量を減量する。
【成果指標】	
A 委託業者が回収したごみ（生活系ごみ、資源ごみ）の量	単位 t
B -	-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	84,240	84,024	84,046	81,809	85,800
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他			9,992	9,700	5,819
一般財源	84,240	84,024	74,054	72,109	79,981

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	5,988	5,780	5,605	5,434
	5,988.7	5,889	5,796	5,738	5,504
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	家庭から排出する一般廃棄物の収集運搬（可燃ごみ205日、不燃ごみ146日、プラ製容器包装146日、粗大ごみ18日、資源物収集容器設置及び回収128日）
成果	生活環境の保全及び公衆衛生を向上するために、廃棄物収集運搬事業により家庭から出る一般廃棄物を収集運搬し、適正に処分した。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
資源物の排出方法、及び収集運搬ルート双方の変更に伴う問題点等を整理し、家庭系ごみの減量化に向け対策・検討を行う。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 選別収集による成果もみられることから、選別収集状況を確認しながら中期的な廃棄物減量対策を検討する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	内堰土砂収集事業				事業通番	5431	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	担当課名	町民税務課	
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	塵芥処理費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、会津美里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
事務事業の概要	本郷地域市街地において、住民参加により集中的に行う側溝等の清掃時に排出される川ざらい土砂と廃棄物を適正に処理する。					
対象（誰、何を）	本郷地域32行政区（1区から31区まで 11.12.17.26.28区を除く）内の水路内土砂等					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	適正に処分する					
成果の考え方	集中的に排出された土砂等を土砂と廃棄物に分別し、適正に処分する。					
【成果指標】						単位
A 適正に処分された土砂等の量						kg
B						

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	931	783	2,023	1,074	920
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	931	783	2,023	1,074	920

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	35,000	32,000	32,000	32,000
	24,300	18,690	15,930	14,442	11,254
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	本郷地域市街地の住民自らが実施する水路清掃で排出された土砂等について、乾燥による減容後に分別し、適正に処分した。
成果	公衆衛生に影響を及ぼさないために排出された土砂等を当日に全て収集し、乾燥による減容後、適正に処分した。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】	地域環境美化の啓発を実施し、廃棄物混合を抑制する。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 地域環境維持のため、内堰土砂廃棄物の期間集中収集を継続実施する。	

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	資源物回収奨励金事業				事業通番	5432	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	担当課名	町民税務課	
予算科目	会計	一般会計		款	衛生費	担当係名	生活環境係
	項	清掃費		目	塵芥処理費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町資源回収奨励金交付要綱					
事務事業の概要	資源物回収を実施した場合に奨励金を交付する。 奨励金：缶類（アルミ缶）8円/kg、古布類9円/kg、ビン類（リターナブル瓶(容積1.8リットル以上)7円/1本）、リターナブル瓶(その他の瓶)1本を0.6kgに換算し7円/1kg、新聞紙1円/kg、雑誌2円/kg、段ボール3円/kg、紙バック10円/kg、紙製容器包装10円/kg					
対象（誰、何を）	資源物回収を実施する団体					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	資源物の再生利用と処分するごみの減量について意識を深める。					
成果の考え方	処分するごみ総量を減量するために、実施団体が回収する資源物回収量を増やす。					
【成果指標】						単位
A 助成金交付件数						件
B 資源物の回収量						トン

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	283	261	251	213	131
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	283	261	251	213	131

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	7	7	7	7
	6	6	6	5	3
B	-	170	170	170	170
	153.3	146.8	138.4	120.3	71

(3) 活動実績及び成果

活動実績	2団体に延べ3回の奨励金を交付した。 新鶴小PTA 4月22日実施 回収量1,830kg 奨励金6,190円 高田中PTA 9月13日実施 回収量29,460kg 奨励金47,100円 新鶴小PTA 10月3日実施 回収量39,993kg 奨励金77,291円
成果	各団体の資源物集団回収により、71tの資源物が適正に処理された。 (主な集団回収資源物；新聞紙40.5t、雑誌16.1t、ダンボール11.9t)

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
資源物集団回収実施の情報がより多くの世帯へ発信できる体制整備及び、児童の関わりについても実施団体と調整を行う。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 処分量減量のためには、資源物回収量の増量は必要不可欠であるため、回収関係情報の発信を継続する。